くみあいNEWS
第１５２０５号
2019年12月27日(金)
発行責任者
日本製鉄和歌山労働組合
組織教宣部
WAKAYAMA WORKERS' UNION
組合ＨＰ：http://nssmwu.jp/　　代表内線番号　和歌山地区(本部)(54)－3590
堺地区　652990／海南地区(54)－5555

2020年度第5回中央委員会報告

【日時】12月26日（木）
17時15分～18時40分
【出欠】出席86人　委任9人　欠席4人
【議長】森山氏

Ⅰ　報告事項

1. 上部団体会議報告
・第6回中央執行委員会
・第7回中央執行委員会
・中央労使協議報告
2. 各種会議等報告
・臨時中央安全衛生委員会報告
3. 箇所労使協議報告
・エリア技能職社員の海外業務支援について
・鋼管部冷間製管工場への応援派遣について
・2019年度下期経営委員会
・2020年1月度生産計画について
・2019年度4／四期要人員計画について
・2020年度1／四期合理化案件について
4. 日本製鉄労連ＡＰ20春季取組み討論集会報告
5.「年末助け合いカンパ」の取組み結果報告

Ⅱ　協議事項

1. ＡＰ20春季取組み方針（案）に関する職場討議の開催について

Ⅲ　審議事項

Ⅳ　その他

1. 1月度日程について

報告事項５件、異議なく承認
協議事項１件、異議なく承認

中央委員会の議事内容（抜粋）を紹介します

◆日本製鉄労連ＡＰ20春季取組み討論集会報告

1. 日　　時　2019年12月4日（水）
14時00分～18時30分
2. 場　　所　日本製鉄本社会議室
3. 参 加 者　中濱書記長、平垣執行委員、
廣田執行委員、柳本支部長
4. 青雲会長挨拶（要旨）

（1）世界・日本における鉄鋼需要は減少しており、さらに中国の鋼材が世界に流出していることから、各箇所の高炉は極限まで出銑比を下げ、調整休風も入れた対応を強いられている。

（2）日本製鉄の経営状況は危機的な状況で、鉄鋼単独での収益は5半期連続で赤字である。また、鉄鋼大手の他社についても軒並み減収減益で厳しい環境となっている。

（3）ＡＰ20春季交渉については、上部団体である連合では2%の賃上げと定期昇給を合わせて4%、ＪＣＭでは3,000円以上の賃上げ目標を掲げている。日本製鉄労連においては、基幹労連の動向および取り巻く状況が非常に厳しいことを踏まえ、要求内容について検討をしていく。

分散会での主な意見につきましては、
日本製鉄和歌山労働組合ホームページに掲載しますので、ホームページのご確認をお願いします。

◆「年末助け合いカンパ」の取組み結果報告

1. 集約結果

支部名	カンパ額(円)	支部名	カンパ額(円)
総務	146,000	冷間製管	115,500
工程技術	123,535	設備管理	84,001
鋼管技術	174,200	中央整備	71,900
コークス	111,600	製銑整備	57,000
製銑原料	52,555	製鋼整備	43,536
製銑	120,565	圧延整備	70,000
製鋼	205,000	海南整備	64,500
ステンレス	74,000	エネルギー	83,486
鋼片	75,500	大形	82,711
薄板	77,500	設備総務	65,100
中径製管	108,000	所幹部	10,000
中径製品	186,200	生活共同組合	12,000
小径製管	129,500	労働組合	24,500
小径製品	134,000	**合計**	**2,502,389**

2. カンパ金使途明細

(1) 長期療養者お見舞い

お見舞品　24人分

＝　380,591円

(2) 日本製鉄労連きずな基金

現金　500円　×　3,119人

(12月1日現在の組合員数)

＝　1,559,500円

基幹労連ふれ愛カンパ

(きずな基金500円の中から50円を支出)

(3) 釜石支援カンパ

現金　＝　100,000円

(4) カンパ金使途合計

＝　2,040,091円

3. 残金

(1) カンパ金

2,502,389円−使途2,040,091円

＝　462,298円

残金の462，298円は、福祉積立金に入金する。

(2) 福祉積立金残高　＝　3,893,518円

各種カンパへのご協力ありがとうございました！
引き続き組合活動へのご理解とご協力をお願い致します。

◆「ＡＰ20春季取組み方針（案）」に関する職場討議の開催について

1. 開催期間

2020年1月18日（土）～1月25日（金）

2. 開催日時

(1) 和歌山地区

日	時	支部	対応者
1/18（土）	15：20	鋼片	廣田
	15：15	薄板	福井
1/20（月）	15：30	製鋼	柳谷
	16：45	製鋼整備	柳谷
	16：45	エネルギー	福井
1/21（火）	13：30	中径製品	山本
	15：15	ステンレス	柳谷
	15：20	コークス	山本
	15：30	鋼管技術	中濱
	16：30	コークス	山本
	17：15	総務部協	柳谷
1/22（水）	15：15	薄板	中出
	16：45	製銑整備	平垣
	17：15	圧延整備	中出
1/23（木）	15：20	中径製管	廣田
	15：30	製銑原料・製銑	中出
	16：30	コークス	廣田
	17：15	設備管理 中央整備	中出
1/24（金）	7：20	鋼片	山本

(2) 堺地区

日	時	支部	対応者
1/18（土）	7：00	大形	中濱
	13：00	大形	中濱
	15：00	大形	中濱
1/20（月）	7：00	大形	平垣
	17：15	大形 設備総務	平垣

(3) 海南地区

日	時	支部	対応者
1/20（月）	16：05	小径製管	平垣
1/22（水）	16：00	小径製品 冷間製管	福井
1/23（木）	17：00	海南整備	福井

◆連合和歌山池田会長ならびに推薦議員団より年末の挨拶をいただく

中央委員会冒頭、当労組の特別執行委員である、連合和歌山池田会長ならびに推薦議員団の皆様から年末のご挨拶をいただきました。皆様から「今年一年ご支援とご協力いただきありがとうございました。機関役員の皆様におかれましては引き続きのご支援とご協力をお願い致します」と述べられました。



連合和歌山
池田会長



衆議院議員
岸本　周平



和歌山市議会議員
寒川　篤



和歌山県議会議会員
浦口　高典



岩出市議会議会員
吉本　勧曜



堺市議会議会員
木畑　匡

◆山本組合長より 2019 年の総括挨拶を受ける



ご安全に。本年最後の中央委員会、大変お疲れ様でした。

2019 年も残り一週間足らずとなりました。この一年間を振り返るとともに、来年の課題について触れ、年末のご挨拶に代えさせて頂きます。

まずは、支部役員の皆様におかれましては、労働組合の諸活動に対し、就業時間内もしくは時間外の貴重なお時間を調整頂きながら、大変ご協力を頂きました事、心からお礼を申し上げます。

本年も、労働組合の最優先課題である「安全と健康の確保」に向けて、2019 年年間安全スローガンである「小さな意識で大きな変化　みんなでめざそうゼロ災職場」を掲げ、製鉄所で働くすべての労働者を守るべく、毎月の「全社安全の日」における門前立哨や基幹労連和歌山県本部と連携しながらの積極的な安全パトロールの実施、各支部との連携による夏期および年末年始強化取組みなど、年間を通じて精力的に安全活動を展開することができました。

しかしながら、災害の連鎖をどうしても止めることができず、休業災害が 2 件、不休災害が 15 件発生し、不名誉な結果で終わることになってしまいました。

災害の芽をどうすれば摘み取れるのか、労使・直協一体となって、これまで行ってきた安全活動のレベルを更に底上げして、より一層実効的な方策を見出さなければなりません。どうか現場の知恵を絞って頂き、管理者から職場第一線の全員が一丸となって無災害製鉄所の実現をめざして参りましょう。

また、台風などの自然災害に対する職場の対応にも苦慮された一年でした。和歌山製鉄所における今年の被害は致命的ではなかったものの、事前事後の設備休止対策や出荷関係の調整など、大変ご尽力を頂きました。地球温暖化が招く自然災害の影響は今後も避けられないとの認識をもって、然るべき対応を図ることが賢明であり、被害を最小限に食い止める対策を講じていくべく、職場の知恵と工夫を是非ともお願い致します。

次に、今年も各級選挙が執行され、4 月の統一地方選挙では、皆様の絶大なるご支援を頂いた結果、和歌山市議選では寒川市氏の 6 期目当選、和歌山県議選では浦口氏の 5 期目当選を果たすことが出来ました。一方、7 月の参議院議員選挙においては、同じく多大なるご支援を頂いたにも関わらず、比例区の田中ひさや氏、そして和歌山選挙区の藤井みきお氏を国政に送り出すことが出来ませんでした。

基幹労連や連合和歌山が自信を持って擁立した候補者を当選させることが出来なかったことについて、真摯に受け止めて分析を行い、政策実現活動の要である我々の代弁者を各級議会へ送り出すべく選挙で結果を出すことの意味を、来年も岸本衆議院議員を始めとする和歌山労組推薦議員団とともに、組合員の皆様との対話を増やしながら理解活動を進めて参ります。

ところで、忘れてはならないのは、和歌山構造改革として上工程更新の象徴であった 2 高炉に火が入り、出銑量年間 500 万トン超の 1・2 高炉体制が確立されたことです。和歌山製鉄所が日本製鉄における鉄源工程の最適生産拠点として改めて位置付けられた以上、来年 4 月から発足する関西製鉄所においても、安定操業はもとより高品質の製品を提供し続ける製造実力の更なる向上に、全工程に携わる皆様とともに、今こそ正念場との気概をもって邁進して参りましょう。

さて、9 月からの第 52 期は、昼夜を問わず持ち場立場で頑張って頂いている組合員の士気を高めることや、労働組合の存在意義・求心力の向上、弱い立場の労働者を守る社会的責任を果たすことなど、民主的な労働組合主義を理念とした運動・活動を推進してきました。その原点はあくまでも職場にあり、執行部が和歌山地区を拠点としながら、堺地区・海南地区へ原則毎日出向き、現場訪問やふれあい対話を重ね、職場の課題や悩みなど吸い上げてきたところです。

その成果としては、生活総点検活動で抽出された項目の確認・進捗はもとより、新たな案件を発掘するなど、職場環境の改善に向けて徐々にではありますが、着実に前進が図られているものと認識しております。今後も継続して職場を回りながら対話を重ね、組合員への地道な活動を充実させることで、労働組合の存在意義・求心力を高めて参りますので、支部・青年女性部の皆様も同様に組合員との対話時間を多く設けて頂きますよう、よろしくお願い致します。

また、年が明け、令和 2 年を迎えてのＡＰ20 春季取組みでは、基幹労連が「人への投資」として、20 年度に 3,000 円、21 年度に 3,000 円以上の賃金改善を求めることや、日本製鉄労連も課題解決に繋がる財源投入として 20 年度に 3,000 円、21 年度に 3,000 円の要求を策定することで進んでおります。

会社の経営状況が大変厳しい中ですが、組合員の頑張りに報いる観点やグループ・関係会社の仲間の労働条件を底上げする大義があるから故の苦渋の決断であります。一致団結による実りある春季交渉にして参りましょう。

さらに、65 歳定年延長制度の関係については、中央での労使懇話会が再開され、入社から退職までの一貫した人事処遇制度の再構築に向けて具体的な議論に入ってきます。こちらについても会社の厳しい経営状況を背景に難航しておりますが、鉄鋼総合メーカーに相応しい制度を構築し、先ほどと同じくグループ・関係会社の指針となるよう注視しておきたいと思います。

そして何よりも、和歌山労組の組合員数約 3,100 名のうち、1,000 名強が青年女性部層で占めるまで若返り、今期始まった各種活動に至っても、新しいアイデアを駆使しながらアクティブに活動されているのを目の当たりにしております。大変頼もしく、将来の職場リーダーおよび組合役員候補の逸材が沢山埋もれているはずであります。どうか、ベテラン・中堅層におかれましては、日頃からの暖かいアドバイスやフォローをお願いするとともに、青年女性部の皆様におかれましては令和 2 年もパワー全開で元気に活動されますことを期待しております。

結びになりますが、この年末年始における直・協すべての職場が安全でありますように、そして 2020 年が組合員の皆様にとりまして、ご家族を含め幸多き年になりますよう心からご祈念を申し上げ、和歌山労組を代表して 2019 年の総括として、年末のご挨拶に代えさせて頂きます。一年間ありがとうございました。

ご安全に。